

2020 年度第 1 四半期決算説明会（電話会議）

概要

日時：2020 年 7 月 31 日（金） 15：30～16：30

スピーカー：株式会社 WOWOW 代表取締役 社長執行役員 田中 晃（以下、田中）

代表取締役 副社長執行役員 黒水 則顯（以下、黒水）

取締役 執行役員 尾上 純一（以下、尾上）

電話会議の内容

司会：それでは定刻になりましたので、株式会社 WOWOW 2020 年度第 1 四半期決算説明テレフォンカンファレンスを開催させていただきます。本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日のテレフォンカンファレンスには、代表取締役 社長執行役員 田中晃。代表取締役 副社長執行役員 黒水則顯。取締役 執行役員 IR 経理担当、尾上純一が参加しております。

それでは社長の田中より、2020 年度第 1 四半期決算ハイライトのご説明をさせていただきます。よろしく願いいたします。

2020年度第1四半期決算 ハイライト

正味加入件数は80千件の純減、収支は減収増益に

加入

- リモートで制作したショート連続ドラマ「2020年 五月の恋」や、サザンオールスターズ・桑田佳祐さんのライブ12時間無料放送、GLAYのオリジナル無観客ライブなど、クリエイターやアーティストとタッグを組み、加入獲得や維持に努めた
- しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベントが延期・中止となったことなどから、加入獲得が苦戦 (単位：千件)

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期差	前年同期比
新規加入件数	148	100	△48	67.7%
解約件数	160	180	20	112.5%
正味加入件数	△12	△80	△68	—

収支(連結)

- 売上高は前年同期と比べ累計正味加入件数が減少したこと等より、減収
- 経常利益は番組費の減少等により、前年同期と比べ増益に (単位：百万円)

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期差	前年同期比
売上高	20,277	19,640	△637	96.9%
営業利益	2,585	4,262	1,677	164.9%
経常利益	2,756	4,408	1,652	159.9%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

田中：田中でございます。本日はテレフォンカンファレンスにご参加いただき、誠にありがとうございます。それでは早速、2020年度第1四半期の決算ハイライトを説明いたします。スライド、資料がお手元にあると思いますが、スライドの2ページをご覧ください。加入についてですが、この第1四半期の新規加入件数は10万件、解約件数が18万件、正味加入件数は8万件的純減となりました。第1四半期は新型コロナウイルス感染症の影響により、エンターテインメントを取り巻く環境は大変厳しい状況となりました。その状況下ではありますが、当社は女優の吉田羊さん発案のリモートで制作した連続ドラマ、「2020年 五月の恋」。サザンオールスターズ・桑田佳祐さんのライブ12時間無料放送。あるいはGLAYのオリジナル無観客ライブなど。クリエイターやアーティストさんとタッグを組んだ取り組みが話題を集めました。しかしながら、スポーツイベントが延期、中止となった影響は極めて大きく、正味加入件数はマイナス8万件という結果となりました。

収支連結でございますが、売上高は前年同期と比べ、累計正味加入件数が減少したことなどにより、6億37百万円の減収となりました。経常利益は、スポーツ番組の放送が延期、中止となったことなどにより番組費が減少し、増益となりました。数字の詳細につきましては、IR 経理担当の尾上が説明いたします。

2020年度第1四半期 加入状況

(単位：千件)

	2019年度1Q	2020年度1Q	前年同期比較	
			前年同期差	前年同期比
新規加入件数	148	100	△48	67.7%
解約件数	160	180	20	112.5%
正味加入件数	△12	△80	△68	—
累計正味加入件数	2,890	2,775	△115	96.0%
内) 複数契約*1	413	403	△10	97.6%
内) 宿泊施設契約*2	66	71	5	107.6%

*1 同一契約者による2契約目と3契約目のデジタル契約に割引制度を適用（月額2,300円の視聴料金を900円に割引。金額は税抜き）

*2 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との個別契約

尾上：IR 経理担当の尾上です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

9 ページの主要な連結決算会社の収支状況まで、私が説明させていただきます。

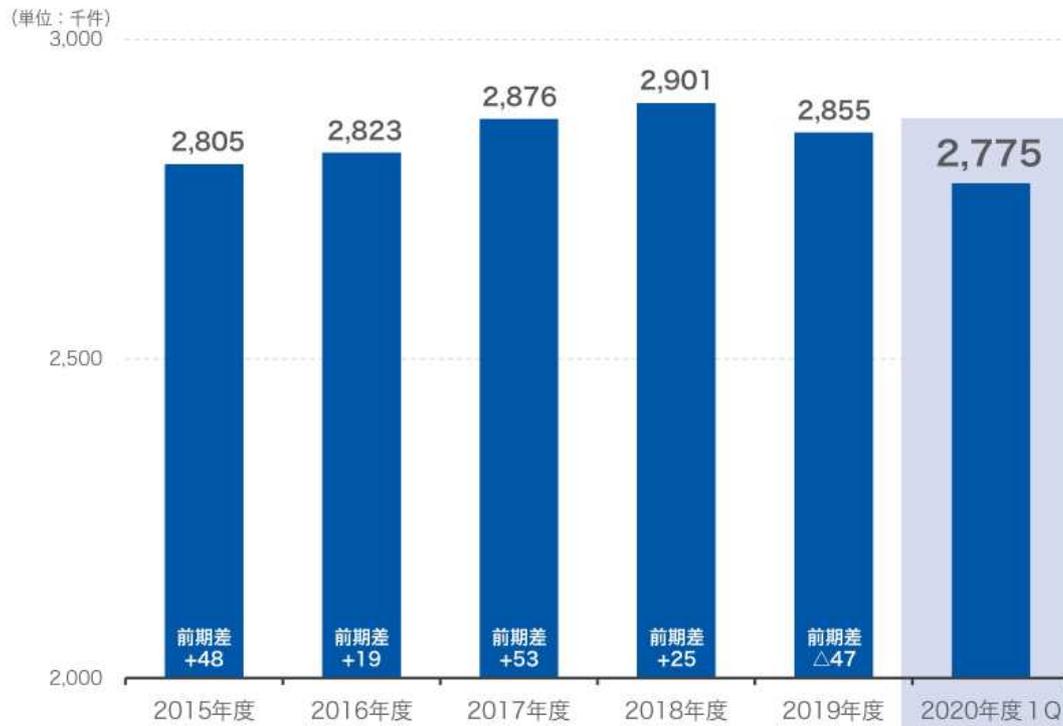
スライド 3 ページ。まず、加入状況です。

当第1四半期の新規加入件数は10万件。前年同期と比べ4万8千件の減少となりました。また、解約件数は18万件。前年同期と比べ2万件の増加。結果、正味加入件数は8万件的純減。前年同期と比べ6万8千件の減少。累計正味加入件数は277万5千件。前年同期と比べ11万5千件の減少となりました。

前年同期は、ボクシングやテニス等のスポーツコンテンツが新規加入を牽引しましたが、当第1四半期は新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツや音楽ライブイベントが延期、中止となったことが新規加入減、解約増の大きな要因となっています。

また、コロナの影響に加え、動画配信サービスの普及により、お客様の視聴の選択肢が増えていることなどから、正味加入件数は純減と厳しい結果となりました。

累計正味加入件数の推移



スライド 4 ページです。2015 年度からの累計正味加入件数の推移となります。

2020 年度上期は、加入獲得が苦戦すると予想しておりますが、テニスのグランドスラム大会の開催が予定されるなど、8 月以降からはスポーツや音楽、オリジナルドラマ等、積極的にコンテンツを投入していくことで、上期で減少した正味加入件数を下期で取り戻していく見通しとしております。

2020年度第1四半期 収支状況

(単位：百万円)

		2019年度1Q		2020年度1Q		前年同期比較	
		実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
連結	売上高	20,277	100.0%	19,640	100.0%	△637	96.9%
	営業利益	2,585	12.7%	4,262	21.7%	1,677	164.9%
	経常利益	2,756	13.6%	4,408	22.4%	1,652	159.9%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,888	9.3%	3,065	15.6%	1,176	162.3%
単体	売上高	18,033	100.0%	17,429	100.0%	△603	96.7%
	営業利益	2,509	13.9%	4,336	24.9%	1,827	172.8%
	経常利益	2,915	16.2%	4,694	26.9%	1,779	161.0%
	四半期純利益	2,080	11.5%	3,328	19.1%	1,247	159.9%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

スライド5ページ、収支の状況です。

上段、連結の収支状況を説明します。当第1四半期は、前年同期と比べ減収増益となりました。売上高は196億40百万円。前年同期に比べ6億37百万円の減収。経常利益は44億8百万円。前年同期に比べ16億52百万円の増益となりました。

前年同期との差異要因は、次ページ以降で説明いたします。

売上高 前年同期対比



それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

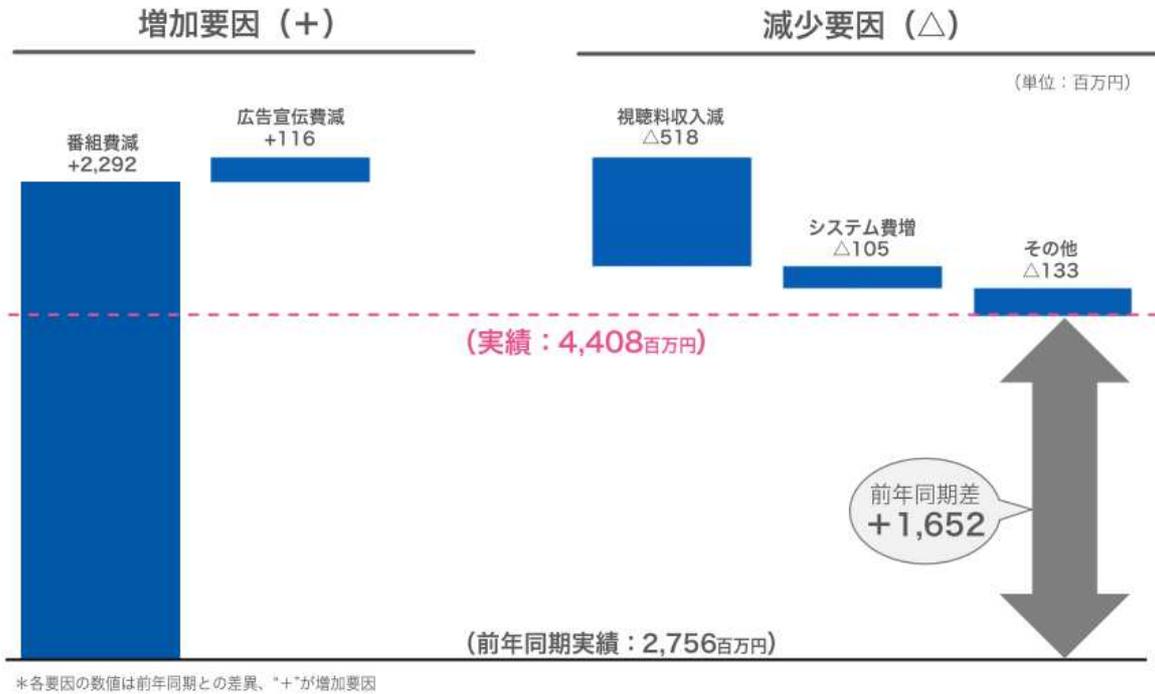
スライド 6 ページ、売上高の前年同期対比となります。

左側の連結売上高をご説明いたします。連結売上高は前年同期と比べ 6 億 37 百万円の減収となりました。その内訳として、有料放送収入は、前年同期と比べ累計正味加入件数が減少したことにより、5 億 18 百万円の減収となりました。

その他収入は、WOWOW 単体でのイベント収入など付帯事業収入に加えて、連結子会社のグループ外の売上などが含まれております。

前年同期は規模が大きいイベントがありましたが、当第 1 四半期にはなかったこと、また連結子会社のグループ外売上が減少したことなどにより、1 億 19 百万円の減収となりました。

連結経常利益 前年同期との差異要因



スライド 7 ページ、連結経常利益の前年同期との差異要因となります。左側が利益の増加要因、右側が利益の減少要因となります。

まず、増加要因ですが、番組費が 22 億 92 百万円減少しております。詳細は次ページでご説明いたします。また、広告宣伝費が 1 億 16 百万円減少しております。

次に減少要因ですが、視聴料収入が 5 億 18 百万円減少。システム費が 1 億 5 百万円増加。これは WOWOW メンバーズオンデマンドの利用増などによるものです。その他の要因として、1 億 33 百万円の減少。付帯事業収入の減少や為替差益の減少等による利益の減少が挙げられます。結果、16 億 52 百万円の増益となりました。

番組費の推移

スポーツイベントの延期・中止等により、番組費は前年同期と比べ減少



それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

スライド 8 ページ、番組費の推移となります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベントが延期、中止となったことなどにより、番組費は前年同期と比べ 22 億 92 百万円の減少となりました。

売上高に対する比率が 25.9%と前年同期から大きく減少しておりますが、今後積極的にスポーツ、音楽、オリジナルドラマ等のコンテンツを投入するため、通期では計画通り、単体売上高の 38%まで番組費を投下する見込みとなっております。

なお、これまでハリウッドメジャー映画の調達費用である映画番組配給費、それ以外の有料放送番組費、データ放送等のその他番組費を番組費の内訳として開示しておりましたが、今回より総額みの開示とさせていただきます。

さまざまなジャンルから選りすぐりのコンテンツを総合編成するという戦略から、映画番組配給費の割合が減少しており、前年度は 20%を下回っております。また、その他番組費については金額が僅少であること、以上により総額での開示とさせていただきます。

主要な連結決算会社の収支状況

■WOWOWコミュニケーションズ（テレマーケティング）

（単位：百万円）

	2019年度1Q		2020年度1Q		前年同期比較	
	実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
売上高	2,077	100.0%	2,035	100.0%	△41	98.0%
営業利益	15	0.8%	△28	△1.4%	△44	—
経常利益	17	0.8%	△28	△1.4%	△45	—
四半期純利益	10	0.5%	△20	△1.0%	△30	—

*WOWOWコミュニケーションズ単体の数値です。

■WOWOWプラス（放送）

売上高	1,230	100.0%	1,352	100.0%	122	109.9%
営業利益	45	3.7%	74	5.5%	29	164.6%
経常利益	45	3.7%	75	5.6%	29	163.6%
四半期純利益	27	2.2%	56	4.2%	29	206.4%

*WOWOWプラス単体の数値です。

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

スライド 9 ページ、主要な連結会社の収支状況です。

表の上段、WOWOW コミュニケーションズは、テレマーケティング業務等を行なっている会社です。売上高は 20 億 35 百万円、経常利益がマイナス 28 百万円となりました。グループ外売上が新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、減少したことにより減収減益となりました。

表の下段、WOWOWプラスは、BS 及び CS110 度、ケーブルテレビなどでベーシック系チャンネルを展開しています。売上高は 13 億 52 百万円、経常利益は 75 百万円となりました。同社は、ホテルでの番組配信サービスや設備導入を手掛けており、ホテルの新規開業など、宿泊施設需要の高まりから受注が増加し、増収増益となりました。

私からの説明は、以上となります。

司会：それでは、引き続きまして、2020 年度業績見通しについて社長の田中よりご説明させていただきます。

徹底的なコンテンツの差別化

スポーツイベントや音楽ライブなどが続々と再開

 <p>全米オープンテニス 8月31日(月)～9月14日(月) 連日生中継</p>	 <p>全仏オープンテニス 9月27日(日)～10月11日(日) 連日生中継 [第1日無料放送]</p>	 <p>生中継! 超特急 BULLET TRAIN 8th Anniversary Special 「超フェス 2020」 8月8日(土)</p>
 <p>スペインサッカー ラ・リーガ 2020-21シーズン 9月12日(土)開幕予定</p>	 <p>メジャー! LPGA女子ゴルフツアー 全英AIG女子オープン 8月20日(木)～8月23日(日)</p>	 <p>劇場の灯を消すな! サンシャイン劇場編 劇団☆新感線40周年!～勝手に? われら青春のサンシャイン! 8月1日(土)</p>

*新型コロナウイルス感染症の状況によっては、番組に変更の可能性がございます

田中：スライドの11ページをご覧ください。

徹底的なコンテンツの差別化ということで、いくつか挙げております。新型コロナウイルス感染症は全く収束しておりません。本日も東京は463人という最多の感染の数が発表されておりましたが、一方で、海外を中心に、プロスポーツイベントは徐々にではありますが、再開の動きを見せております。

いくつか当社が放送する海外のスポーツイベントを紹介いたします。「全米オープンテニス」は8月31日から2週間、当初の予定どおりの日程で開催となる見込みでございます。ただし、例年と違って完全無観客、それから検査の徹底や関係者の人数制限など、万全の感染防止対策を取った運営になると発表されております。この大会に、錦織圭選手や大坂なおみ選手が出場の意向を示しておりますので、ハードコートでのプレーを得意としている2人の活躍に期待をしておりますし、この閉塞した感じの今日の中で日本の視聴者に、社会に、明るい希望を灯してほしいと、そのように思っております。

また、延期となっておりました「全仏オープンテニス」、こちらのほうは9月27日から本戦が開幕

WOWOW

いたします。こちらは観客を入れての開催を目指す方針を発表しております。また、WOWOW メンバーズオンデマンド限定で配信しておりました「男子テニス ATP ツアー」、こちらも 8 月 22 日再開の見込みでございます。

また、テニス以外でも「LPGA 女子ゴルフツアー」や、「スペインサッカー ラ・リーガ」の新シーズンもスタートいたします。また無観客となる可能性が高いのですけれども、生中継の音楽ライブも再開の動きを見せております。感染の拡大と、こういったエンターテインメントの再開とが両立して同時進行していくという状況になるかと思っております。それに合わせて、下期に向けて、加入獲得の巻き返しを図ってまいります。

2020年度 加入計画 (2020年5月15日公表値)

(単位：千件)

	2019年度 実績	2020年度 計画	前期比較	
			前期差	前期比
新規加入件数	564	630	66	111.7%
解約件数	611	630	19	103.2%
正味加入件数	△47	—	47	—
累計正味加入件数	2,855	2,855	0	100.0%

続いて、スライドの12ページでございます。

2020年度の加入計画は、5月の公表値と変更ございません。

2020年度 収支計画 (2020年5月15日公表値)

(単位：百万円)

		2019年度		2020年度		前期比較	
		実績	収入比	計画	収入比	前期差	前期比
連結	売上高	82,450	100.0%	80,700	100.0%	△1,750	97.9%
	営業利益	8,489	10.3%	4,800	5.9%	△3,689	56.5%
	経常利益	9,225	11.2%	5,000	6.2%	△4,225	54.2%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	5,072	6.2%	3,300	4.1%	△1,772	65.1%

単体	売上高	72,489	100.0%	70,500	100.0%	△1,989	97.3%
	営業利益	7,932	10.9%	4,700	6.7%	△3,232	59.3%
	経常利益	8,580	11.8%	5,100	7.2%	△3,480	59.4%
	当期純利益	4,613	6.4%	3,500	5.0%	△1,113	75.9%

(注) 番組費：単体の売上高比として約38.0%を見込む。
想定為替レート：1ドル110円

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

年間配当	80円/株	80円/株	-	100.0%
------	-------	-------	---	--------

スライド 13 ページ。

収支計画も現時点で5月の公表値と変更はございません。

私からは以上です。

質疑応答

司会：私どもからのご説明は以上となります。これから質疑応答に移らせていただきます。

それではご質問のある方、よろしくお願いいたします。

質問者 A：番組費についてなんですけれども、今回の 1Q の数字が当初の今期の計画に比べていかがだったのかという点を伺いたいのと、あと通期見通しに対して 2Q、3Q、4Q とどういった推移をしていくのか、見通しをお伝えいただいでよろしいでしょうか。

尾上：尾上よりお答えいたします。番組費の第 1Q の結果が計画に対してどうだったのか。今後、通期の見通しに対してどのような進捗をしていくのかというご質問でよろしいでしょうか。

質問者 A：はい。お願いいたします。

尾上：第 1Q につきましては、当初の計画の時点でスポーツコンテンツがないということを想定しておりましたので、ほぼ計画どおりの想定となっております。また、先ほどご説明したとおり、この 8 月以降スポーツ、ライブイベント等の回復を見込んでおりますので、そちら計画のとおり、年間、下期に加重した形で推移してくということで想定しております。

以上、お答え差し上げました。

司会：質問、よろしいでしょうか。

質問者 A：はい。ありがとうございました。

司会：それでは、他にご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。

質問者 B：1 点ありまして、BS4K ですかね、こちらの開始が遅れるということですけども、その償却費が、当然、その分今期に関わるものが遅れると思うんですが、その影響をどの程度見込んでいらっしゃいますか？

尾上：尾上からお答えさせていただきます。まず、BS4K の放送が 3 カ月延期したことで、当然その 3 カ月分の償却費について当初の想定よりも減少することになりますが、こちらの償却額等については個別の開示はしておりませんので、お答えは控えさせていただきます。

なお、有価証券報告書で開示しておりますが、4K に関する全体の投資額としては 38 億としておりますので、そちらの数字をご参照いただければと思います。以上、よろしいでしょうか。

質問者 B：はい。ありがとうございました。

司会：他にご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

質問者 A：先ほど質問させていただいた者ですけども、よろしいでしょうか。

司会：はい、お願いいたします。

質問者 A：今期の残りの期間の番組費について、先ほどお答えいただいたものの追加で恐縮ですけれども。例えば四半期ベースで見たときに、もう第 2 四半期はある程度前年並みの数字に戻るとか、いつ頃でコロナ前の数字に戻ってくるかっていうのを、見通しだけでもざっくりとお示しいただくことはできますでしょうか。

尾上：尾上よりお答えさせていただきます。四半期ごとの番組費については開示をさせていただいておりませんので、具体的な金額は差し控えさせていただきます。もともとの想定も、8 月からスポーツイベント等が回復していきだろろうということで、番組費等も想定しております。先ほどご説明したとおり、テニスのグランドスラム大会も開催される予定になっておりますので。この 9 月以降、下期にかけて、徐々に前年並みの水準に戻っていきながら、当初想定している単体売上高の 38% 程度まで投下していくという想定となっております。

よろしいでしょうか。

質問者 A：分かりました。ありがとうございます。

司会：他にご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。それでは、ご質問がないようですので、ここで質疑応答は終了させていただきます。最後に田中社長、一言お願いいたします。

田中：田中でございます。改めまして、本日はご参加いただきましてありがとうございます。最後に私から、お手元に本日出しましたプレスリリースありますでしょうか。「組織改定及び人事異動について」というのをリリースいたしました。8 月 1 日付で組織改定と人事異動を行います。

昨今の WOWOW を取り囲む事業環境、競争環境が大きく変化しているところに、さらにコロナウイルスによる生活者の生活スタイルとか、あるいはマインドも大きく変わっていく。そんな状況の中、WOWOW が存在感を増して、お客様に一番選ばれる存在になり、社会に WOWOW らしい価値を提供していく、そんな存在になることを目指して組織改定を行いました。

それに伴って、人事異動も行っております。お手元にある組織図を見ていただくと、その特徴だけ申し上げますと、局の数で言いますと 9 局あったものを 11 局に、2 局増やしました。それから、27 の部があったものを 31 の部にいたしました。局長、部長のこの管理職のうち、約 60% が新しいポジション、異動ということになりました。それを含めまして、全社員の 35% が今回異動したという、割と大きな組織改定と人事異動を行いました。

WOWOW

その中の大きなポイントを申し上げますと、従来、放送配信が当社の事業の柱と言いましょか、顔なわけですけども、それを担っていたセクションを少し改変しまして、放送配信等々の事業を担う局をメディアビジネス局と名付けました。

それから、新たに、コンテンツを視聴するだけではなくて、視聴に加えてお客様が参加する、体験する、応援する、そういったインタラクティブなコミュニティーをプロデュースしていこうということで、コミュニティプロデュース局というのをつくりました。

いずれにしても、WOWOWらしさを追求して、改めてコンテンツを中核として、会員ビジネスを再構築するんだと、そのように考えてやってまいりたいと思います。

何卒、引き続きご支援を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

司会：以上をもちまして、2020年度第1四半期決算説明を終了させていただきます。

本日は、テレフォンカンファレンスにご参加いただき、誠にありがとうございました。

以上